

2

役割付与型の提案会議

開発チームに入り、よりよい開発へのディスカッション

ハッカソンで 生まれた開発プロジェクト

「この開発プロジェクトを
より良いものにするには？」

をテーマにチームに入って
実際にディスカッション！

でも・・・

メンバーでもないのに
実際のプロジェクトに
意見できるものなの？

大丈夫です！

「今この場だけの仮想の役割」
を1人1つ担って、
提案会議をします

「役割付与型の提案会議」

仮想の役割を
担い提案議



新設もOK



好きな役割を選んでください

E

開発協力

仮に) 技術的に協力をするなら
こういうのはどうだろう、を提案

D

デザイン

仮に) デザイン面で協力するなら
こういうのはどうだろう、を提案

B

ビジネス

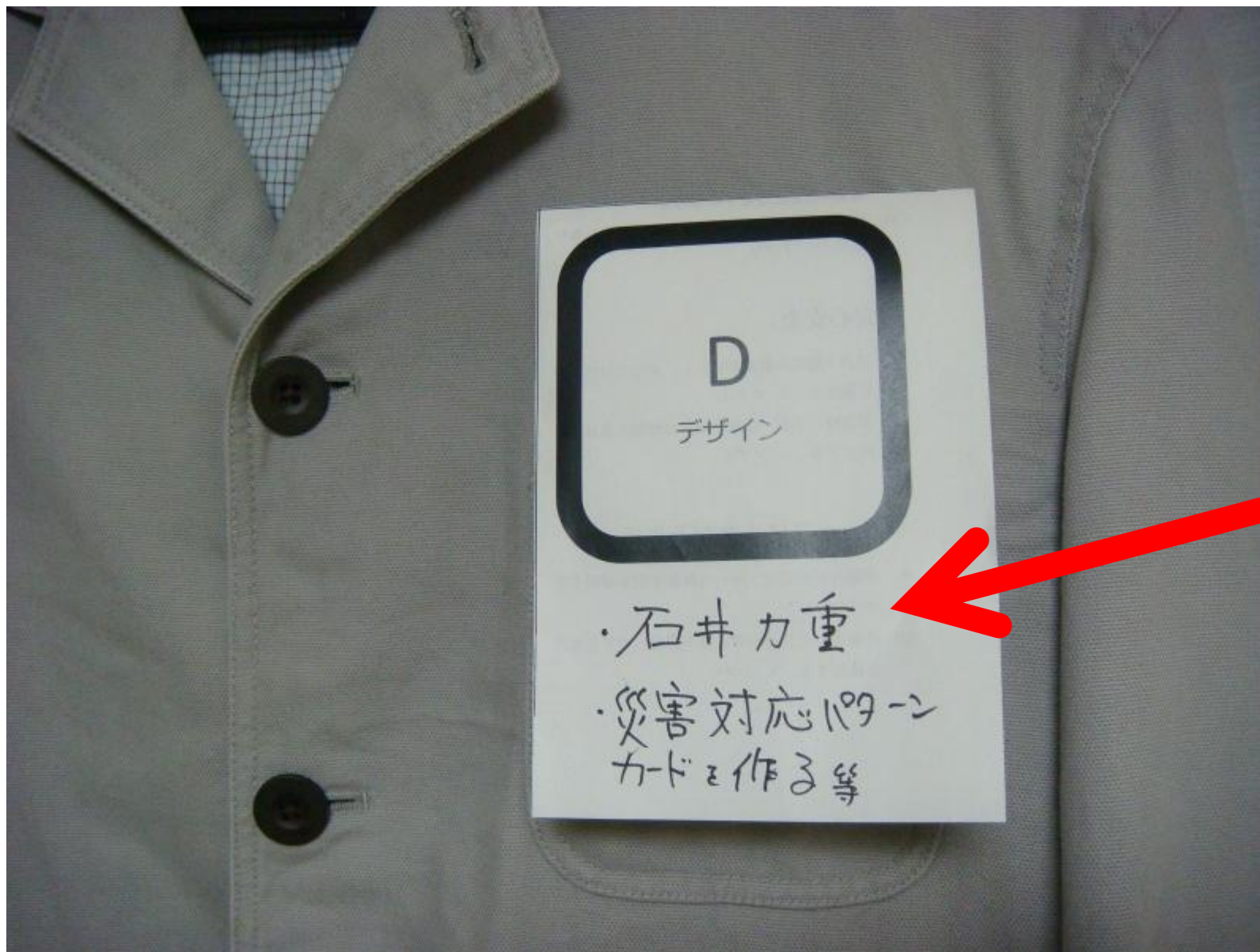
仮に) 広報や渉外で協力するなら
こういうのはどうだろう、を提案

U

ユーザ役

ターゲットユーザとして
どうなるとうれしいかを提案

「名前」「できそうな事」を書く



この場の2つの狙い

1. 開発チームのメンバーにとって：
更に発展するための情報や、一緒に作れそうな、新しいメンバーと出会える（かも）
2. 一般参加者の方にとって：
実際に開発しているプロジェクトを、よりよくするための議論に参加することができ、
某課題×ITをより詳しく考える材料を得る

各プロジェクトのプレゼン（20分）

- 皆さんは、聞きながら、どこに入りたいかを考えてください。
- プレゼン内容
 - 作っているものの概要
 - これまでにしてきたこと
 - 今後の見通し

（内容が分かれば、この構成でなくてもOK）

ディスカッション（30分 + α ）

- 各自、興味のあるプロジェクト参加します。
- **「この開発プロジェクトをより良いものにするには？」**

をテーマにディスカッション（30分 + α ）

- 人数を適切なサイズにすることで、議論をしやすくします。
 - 大きすぎるところは、グループ内に小グループを作り、同時並行でディスカッションも、可。

グループ内の、小グループに分割について

大きすぎる会議ならば「小グループ」にわけますが、開発チームのメンバーが、小グループに必ず一人は、情報提供役として入っていることが必須です。

その制約のため、ケースもあるでしょう。その場合は、上限を超えた人数分だけ、別チームへ移動してください。

レビュー（20分）

各チーム、提案会議から得られたものを、3分程度で紹介

チームを小グループに分割したところは、合計、3分間の枠です。代表例を紹介するか、全部を素早く紹介するかはお任せします。

実施してみても、
フィードバックが得られた

- プロジェクトを発展させるために、解消すべき課題がハッキリした。
- 新しいアイデアを得た。
- 新しい協力者が、開発コミュニティに加わった（イベント参加者の6%位？ 3/50）
- 音楽を大きな音でかけてはいけない。
（ブレストとは違い、細やかな議論がある。大きな音楽は邪魔になる）

会議のサイズは 5人以上12人以下にする

【!】 小さすぎる（4人）と厳しくなる。

ブレストなら小さいほうが良いが、確度の高いことを
練ろうとすると、人数が少ないと、
不確実な要素が多すぎて議論がしにくくなるため。

接触面積を増やす！

このワークを1ラウンドとし
メンバーをシャッフルし
2～3ラウンド行うのもよい。